



化学工学会第 81 年会  
2015 年度インターンシップ報告会 企業報告

富士フイルム株式会社

R&D 統括本部 生産技術センター

研究マネージャー

上席化学工学技師

片井 幸祐

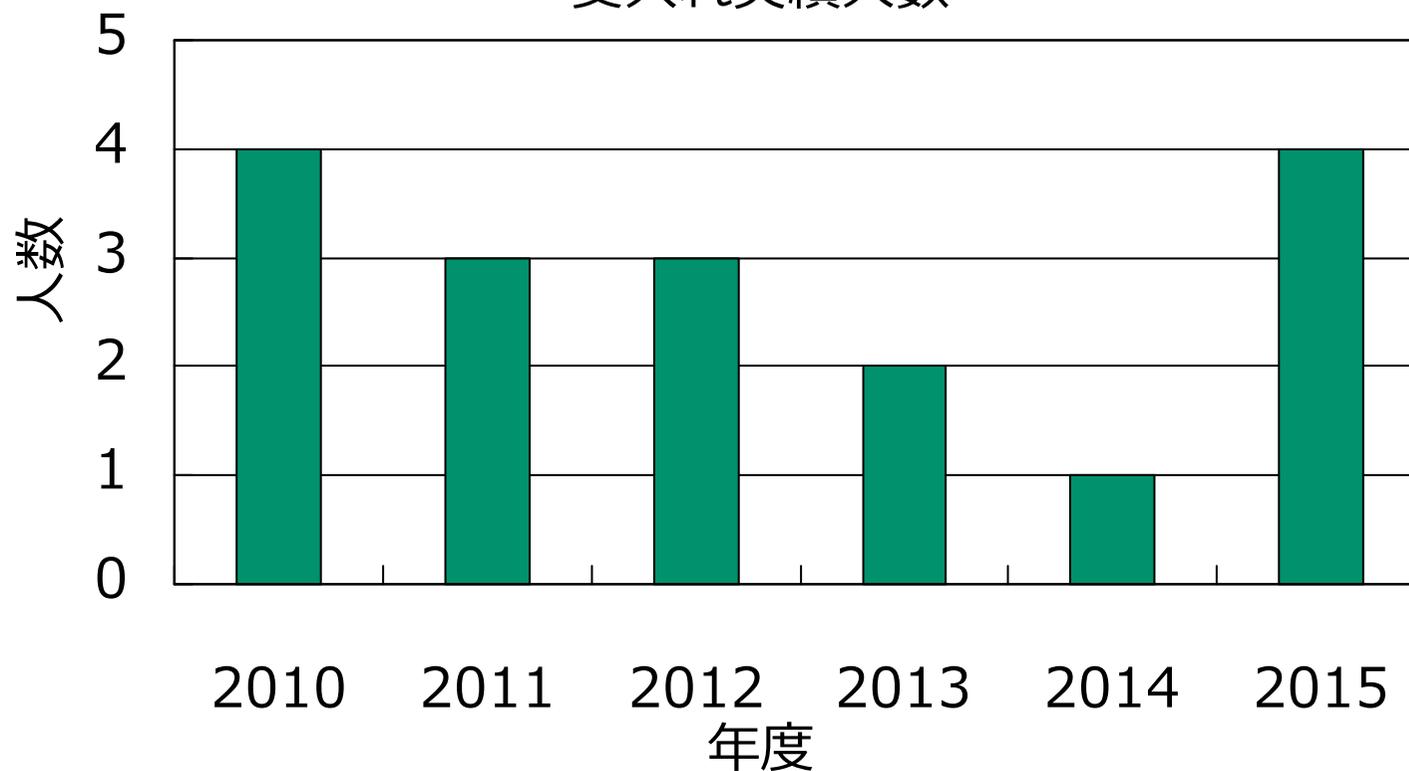
# 富士フィルムのインターンシップの紹介

---

# 富士フィルムの受入れ実績

富士フィルムでは、2010年度より、主に生産技術センターで人事部と協力して受入れを続けています。

富士フィルムの化学工学会インターンシップ  
受入れ実績人数



# 2015年度のインターンシップ受入れ

FUJIFILM

富士フイルム神奈川工場 足柄サイト・小田原サイトの2箇所



部署：生産技術センター  
受入れ人数：1名  
実習内容：  
・ポリマーシート成形に関する実験および評価  
実習日数：10日間



(2015年度は受入れなし)



部署：生産技術センター、  
記録メディア生産部・研究所  
受入れ人数：3名  
実習テーマ：  
以下の実験および評価  
・ポリマーシートの表面処理  
・磁気材料関連  
実習日数：10日間

## ○指導員：

- ・ 学生さんには、若手技術者の指導員が1名つきます。
- ・ 実験にあたりアシスタントが1～2名つくこともあります。

## ○実習生活：

- ・ まず、指導員から生活や安全上の注意事項を伝えます。
- ・ 研修期間中は、学生さんは社員と同じ職場に席を置きます。
- ・ 毎朝の安全ミーティングに可能な限り参加してもらいます。
- ・ 基本的に、実習の日報を毎日提出してもらいます。
- ・ 仕事以外でも懇親会や夏祭りなどの社内イベントに、可能な限り参加してもらおうことができます。

## 2) 実習テーマ

### ○実習テーマ：

- ・ 毎回、オリジナルのテーマを用意します。  
実験や評価の結果をおおまかには予想していますが、  
やってみないとわからないものがほとんどです。
  - ・ テーマ設定に当たり、以下に重点をおいています。
- ✓ **安全が確保できる実験内容**
  - ✓ **当社における技術者の業務がイメージできる実務的テーマ**
  - ✓ **実習期間中に企画～実施～結果の考察～報告書の作成までやりきる**こと

### 3) 実習開始

○実習テーマの説明：

- ・ 学生さんは、背景・目的、おおまかなシナリオ、実験室・実験装置の使い方などの説明を受けます。

○予備知識の学習や事前調査：

- ・ 学生さんは指導員からテーマに関する資料を渡されます。
- ・ 必要であれば、学生さんが実習中に文献調査などを行うこともしばしばあります。

○実験計画：

- ・ 結果のグラフをイメージして、学生さんが計画書を作成します。
- ・ 必要な器具や材料も、できるだけ学生さんが考えます。

## 4) 実験、評価

### ○実験開始：

- ・ 指導員の了解を得て実験を開始します。
- ・ 実験器具や材料は予め指導員が準備しています。新たなアイデアが出た場合は、社員と共に手配に走り回ることもあります。

### ○実験遂行中：

- ・ 指導員やアシスタントだけでなく、実験室や測定装置などを共用する他の社員とのやりとりも行ないます。
- ・ 測定装置使用の交渉をしてもらうこともあります。
- ・ 不測の事態も、指導員とともに乗り越えて行きます。

## 5) 成果発表会

### ○成果発表資料の作成：

- ・発表時間は5分～10分ほどですが、指導員の指導のもとで資料作成、プレゼンテーションの練習を行います。

### ○成果発表会：

- ・研修の最後に成果発表会を行います。
- ・社内の関係者が出席し、プレゼン内容に関する質疑や討論を行い、アドバイスを受けてたりします。

※2年前までは、化学工学会事務局や指導教官の方々にご出席いただきました。非常に緊張感のある成果発表会でした。

○当社では、インターンシップは、企業と学生さんの交流により、生々しい仕事の様子を肌で感じてもらうことができ、お互いに理解を深める絶好の機会になっていると思います。

○インターンシップ受入れにおける企業の負荷は少なくはありません。しかし、学生さんの達成感や、当社の若手指導員の成長にもつながっているという感触を持っています。

○富士フイルムでは、今後も化学工学会インターンシップ受入れを継続してゆく方針です。

多数の学生さんの参加をお待ちしております。

**FUJIFILM**  
Value from Innovation